

サンディエゴ姉妹都市周年記念事業について

2017（平成 29）年は、横浜とサンディエゴ（米国）との姉妹都市提携 60 周年の記念となる年です。

このたび、姉妹都市提携 60 周年を記念し、サンディエゴを訪問し、サンディエゴ市長との意見交換の他、経済を中心とした各種プログラムを実施し、姉妹都市交流を一層促進する機会としました。

1 実施期間

平成 29 年 4 月 6 日（木）から 9 日（日）まで

2 メンバー

- ・ 川口 正寿 横浜サンディエゴ友好委員会会長他、市民メンバー 4 名
- ・ 梶村 充 横浜市会議長他、横浜市会議員 10 名
- ・ 渡辺 巧教 横浜市副市長他、横浜市職員等 13 名



3 実施概要

（1）サンディエゴ横浜姉妹都市協会との意見交換（6日午後）

姉妹都市提携以来、横浜とサンディエゴの市民交流を支え続けているサンディエゴ横浜姉妹都市協会と、姉妹都市協会の取組及び今後の市民交流を中心とした両市の交流促進について、意見交換を行いました。



（2）桜の植樹（6日午後）

姉妹都市提携 60 周年を記念して、桜の苗木をサンディエゴに寄贈し、サンディエゴ日本友好庭園（三景園）で植樹を行いました。桜は日米交流の象徴の一つであり、両市の成長と交流促進を願う思いが込められています。



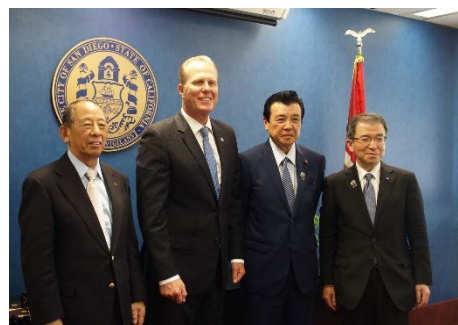
(3) 経済セミナー（7日午前）

企業誘致トップセミナーを開催し、渡辺副市長と横浜市立大学窪田学長がプレゼンテーションを行い、70人の参加を得ました。また、現地バイオ関係団体と今後の連携に関する覚書を締結しました。



(4) サンディエゴ市長訪問（7日午前）

ケビン・フォルコナー サンディエゴ市長を訪問し、これまでの交流を振り返り、両市の絆を確認するとともに、経済、教育、環境など、多岐に渡る分野での今後の一層の交流促進について意見交換しました。



4 今後の予定

今後、横浜サンディエゴ友好委員会と連携し、パネルの展示や講演会等を横浜で開催予定です。